



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



バガン遺跡群

バガン（2019年世界遺産登録）

技能実習生
ぞくぞく
配属中

※ 2024年
【12月】

- ・北海道 :1法人1施設
- ・茨城県:1法人1施設

※2025年
【1月】

- ・千葉県:1法人1施設
- ・東京都:1法人1施設
- ・三重県:1法人1施設
- ・滋賀県:1法人2施設
- ・香川県:1法人1施設

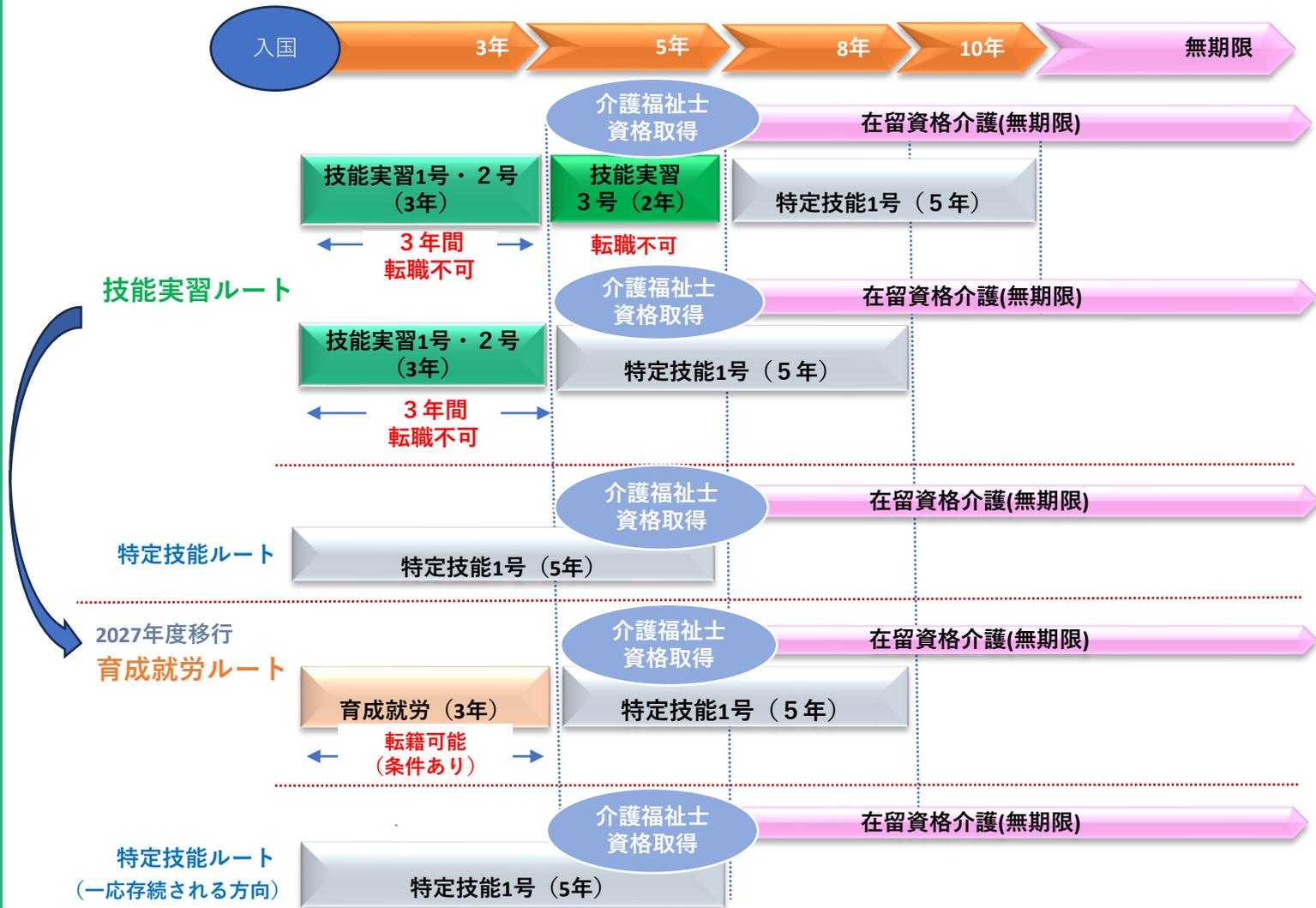
【2月】

- ・兵庫県:1法人1施設
- ・茨城県:1法人1施設

育成就労制度移行を控えた採用選択について説明します。

外国人の受入れ方法（現在⇒2027年以降）

技能実習(育成就労)～特定技能～在留資格「介護」へと進む長期就労への枠組み



どの採用選択でも、長期就労(=国家資格取得)を目指すことが1つの目標と考えます。その点で、技能実習(育成就労)→特定技能ルートが受験チャンスが多く有利となります。

外国人材の長期就労のためのシナリオ

「介護福祉士取得のサポート」

試験対策

介護福祉士実務者研修受講の為のサポート

シフト調整

教育訓練給付制度活用サポート

専門実践教育訓練（受講費用への助成制度有り）

⇒日本語学習のサポートなどの実施が重要な要素となります。



採用選択のポイント！

外国人は、技能実習でも特定技能でも採用が可能です。しかし…

・「技能実習」ルートを選択する外国人は：

☞ 3年間転職を考えず、しっかり仕事を覚えて、スキルアップをはかる傾向 また、職場の人間関係構築にも真剣

※ この3年間の職場での絆が、その後の転職防止(離職予防)に繋がっています

・「特定技能」ルートを選択する外国人は：

☞ とにかく入国し、その後、母国人ネットワークなどを活用し、転職する傾向



・3年間の「技能実習」で、“実務”を習得した特定技能外国人を育成、さらに「介護福祉士」として、長期に現場に貢献できる外国人材を養成！

2027年度から施行される育成就労制度では、このキャリアパスが明確になります

…とはいえ、施設様にとっては特定技能の直接採用が労務管理、費用面で魅力的であることは事実です。

まとめとして：各施設様の抱える課題に合わせた選択肢で採用

各施設様の課題に沿った選択肢が最適案です！

- ・日本人採用が難しい→・技能実習生の採用or特定技能外国人の採用
- ・採用した日本人が定着しない→技能実習生

として検討を始めてみて下さい。

定着期間の長さ＋サポート内容が長期就労を決定する要因となります。

- ・資格取得のサポート
- ・日本語学習のサポート
- ・地域交流
- ・就業時間外での交流 等が効果をあげる要因となります。

長期就労を目指して「いかに絆を深められるか」を一緒に考えさせて下さい。

全ての選択肢にアイブリッジ協同組合は対応致します。

外国人の採用は、短時間で能力や意識を見極めることは難しい為、監理団体の選択や監理団体と提携する諸外国のエージェント(送出し機関)の選別が大事です。

長期就労を目指す採用に、アイブリッジ協同組合は経験・ノウハウでサポート致します。



（2期生）YI YI MON（イー イー モン）さん

- ・日本で違うと思ったこと・大変なこと：季節が大きく違います。日本は冬にめっちゃ寒くて、雪が積もるのを見てびっくりしました。他には、規則と時間を守る人が多いので良いです。大変なことは、日本語が上手くないので心配でしたが、職場の先輩が優しく教えてくれますので仕事が楽しくなりました。
- ・後輩にひとこと：日本に来る前に日本語を上手になるように勉強するのが大事だと思います。



（2期生）KYI LAE LAE WIN（チー レ レ ウィン）さん

- ・日本で違うと思ったこと・大変なこと：ミャンマーとは、季節と生活とが大きく違いました。仕事を始めた日に、入院患者さんが一人で入院して来たのを見てびっくりしました。私の国では家族と一緒に来るのが当たり前ですので驚きました。他は、皆さんがルールを守るのでとても良いと思いました。大変なことは、認知症の患者さんに入浴介助をする時間です。好きな仕事は、オムツ交換、ベッドメイキング、清拭などです。
- ・後輩にひとこと：日本に来る前に日本語をしっかり勉強して、日本のルールや文化を勉強することが大切だと感じました。



（1期生）AYE CHAM PYAE（エイ チャン ピェ）さん

- ・日本で違うと思ったこと・大変なこと：食べ物も生活習慣も大きく違います。初めて日本に来たとき、日本人が辛いものをあまり食べられないことが信じられませんでした。私にとっては辛いカレーやラーメンでも、「辛い」と言われて驚きました。大変なことは、日本人とミャンマー人の考え方が違うので、コミュニケーションを取るのが大変だと思いました。でも、分からないことがあると優しく丁寧に教えてくれるのでとても助かっています。

- ・後輩にひとこと：決して夢を諦めずに、頑張ってください。



（1期生）WIN MAR OO（ウィン マー ウー）さん

- ・日本で違うと思ったこと・大変なこと：日本は高齢者が多く、ミャンマーは子供が多いと感じました。びっくりしたのは、90歳でも車を運転している人がいた事です。18歳になったら車を持つ事は本当に憧れています。大変なことは、体が大きい患者さんを車いすに移譲する時に苦労することです。好きな仕事は、移動の介助と食事介助です。

- ・後輩にひとこと：日本語をちゃんと勉強してリスニングを理解できれば、解からないことが有ってもわかる言葉で教えてもらえるので、リスニングを練習することが大事だと思います。

技能実習指導員の方からのコメント

- ・一緒に働くようになって変わった印象：挨拶もしっかりできて礼儀正しく、勉強熱心で向上心があります。言葉や文化の違いで困ることはあまり有りませんでした。全員がまじめで素直、技術・知識の習得も速い人たちで良かったと思います。
- ・採用を考えている法人様へのアドバイス：日本語がどの位話せるのか心配でしたが、コミュニケーションはしっかり取れました。

アイブリッジ協同組合 LINE公式アカウント



- ☑ 技能実習生の入国状況
- ☑ 新しい取り組み
- ☑ ミャンマーの国内状況
- ☑ 補助金・助成金制度
- ☑ 実習生の有効活用 などなど



LINE公式アカウント

@924wkeqs



アイブリッジ協同組合

所在地：〒104-0044
 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー40F
 TEL：03-6228-4196 FAX:03-6228-4896
 URL：<https://www.ibridge.or.jp> mail: info@ibridge.or.jp

